

弘前市第三セクター改革プランの総括
一般財団法人星と森のロマントピア・そうま

第三セクター改革プラン	①弘前・相馬周辺の地域観光振興並びに観光PRの拠点としての役割を担っていきけるように、市の支援体制を強化していく。	
取組事項	「弘前感交劇場」推進の施策と連携して、新たな視点からの商品開発などの提案や、財団が行う地域観光振興に寄与する公益事業等への応援体制を構築していく。 (実施年度) 平成22年度～平成24年度	
これまでの取組状況	平成22・23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市から観光関連情報の提供を行った。 ・弘前感交劇場やわかネットへ関連情報の収集・提案を依頼した。
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集については市以外からのものを含め継続し、市として提供できる情報は随時提供している。
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行エージェントからの情報や各種イベントの情報などを共有するため月1回の打ち合わせ会議を開催。また地場産品の物販への提案や、星まつりなどのイベントへの応援、天文台活用のための所管替えも実施(26年4月～)。
取組に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 取り組むことができた ② おおむね取り組むことができた 3 取り組むことができなかった 	
総括	<p>旅行エージェントからの情報や各種イベントの情報などを共有するため月1回の打ち合わせ会議を開催。また地場産品の物販への提案や、星まつりなどのイベントへの応援、天文台活用のための所管替えも実施(26年4月～)。</p>	

弘前市第三セクター改革プランの総括
 一般財団法人星と森のロマントピア・そうま

第三セクター 改革プラン	②経営状況の開示については、公益法人に関わる財務諸表の規定に従った最新のものに統一する。
取組事項	経営状況の開示については、公益法人に関わる財務諸表の規定に従った最新のものに統一する。 (実施年度) 平成 22 年度
これまでの 取組状況	平成 22・23 年度 ・平成 22 年度決算書類から、公益法人に関わる財務諸表の規定に従ったものに統一している。
	平成 24 年度
	平成 25 年度
取組に対する評価	① 取り組むことができた ② おおむね取り組むことができた ③ 取り組むことができなかった
総括	(This cell is currently empty and contains a diagonal line.)

弘前市第三セクター改革プランの総括
 一般財団法人星と森のロマントピア・そうま

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>③諸設備の老朽化が進んでいるため、その維持修繕等の費用の捻出及び公益法人改革に伴う財団の位置づけ・方向性を検討する。</p>	
<p>取組事項</p>	<p>施設の修繕・改修等費用の負担方法や、屋外遊具等の存続を含めて事業運営に係る財団並びに施設の位置づけ等を、設置の経緯や地域的背景等を十分考慮して、財団と綿密な協議を行ったうえで市としての方針を打ち出す。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 23 年度</p>	
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23 年度</p>	<p>・施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。</p>
	<p>平成 24 年度</p>	<p>・施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した結果、概ね 10 万円を超える費用については、原則として当面は市が負担することとした。</p>
	<p>平成 25 年度</p>	<p>・公益法人改革により一般財団法人へ移行した。 ・概ね 10 万円を超える施設の修繕、改修等については、原則として市が負担した。</p>
<p>取組に対する評価</p>	<p>① 取り組むことができた ② おおむね取り組むことができた ③ 取り組むことができなかった</p>	
<p>総括</p>	<p>公益財団法人改革により、財団法人から一般財団法人へ移行したが、法人の目的や事業内容は踏襲され、位置づけもこれまでどおりとなっている。 施設の修繕・改修等費用の負担方法については、あくまでも市の施設であるという位置づけから、概ね 10 万円を超える施設の修繕、改修等については、市が負担する方針とした。 指定管理期間や指定管理料については、関係課と協議しながら見直しを行った。</p>	

弘前市第三セクター改革プランの総括
 一般財団法人星と森のロマントピア・そうま

第三セクター 改革プラン	④「財団法人岩木振興公社」との連携や統合について検討を進める。	
取組事項	「財団法人岩木振興公社」との統合については、設置の経緯や地域的背景等を十分考慮して検討を進める。また、職員派遣の受入れや職員研修、情報交換（経営アドバイス）等を積極的に進めていく。 （実施年度）平成22年度～平成24年度	
これまでの 取組状況	平成 22・23年度	・今後の方針を検討するため、運営検討事業（経営アドバイス）を計画した。 ・経営アドバイザーにより、経営状況の調査・分析を行った。
	平成 24年度	・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとっている。
	平成 25年度	・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとっている。
取組に対する評価	1 取り組むことができた 2 おおむね取り組むことができた ③ 取り組むことができなかった	
総括	岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとったものの、地元関係者の意向等を確認しながら、両財団との協議には至らなかったため、「財団法人岩木振興公社」との連携を図ることを目的とした財団相互の職員派遣、職員研修及び情報交換（経営アドバイス）を進めることができなかった。	